

## 空家等実態調査フロー

### 1 目的

本市の空家対策の推進に関して空家等対策計画策定の基礎資料となる空家住宅など  
実態把握のための調査

### 2 調査方法

空家候補地の選定

#### ア. データマッチング

候補の抽出

水道使用量情報データより、年間使用量が一定未満の水栓を抽出



地番現況図データと突合処理を行い、水栓が存在する空家候補土地データを作成

#### イ. 机上調査

空家候補地データと家屋現況図データをもとに、空間解析機能を用いた解析処理  
を行い、現存する建物のみを抽出した空家候補建物データを作成



住民基本台帳データと照合を行い、住民登録の有無を調査

#### ウ. 現地調査

##### ●調査マニュアルの作成・現地調査員の研修

調査項目を取り決める。

主な判定基準は、

- ① 建築物の傾斜 ②基礎の状況 ③外壁の状況 ④屋根の状況



##### ●現地確認調査

抽出した空家候補建物について、外観目視による現地確認（写真撮影含む）

#### エ. 調査結果とりまとめ

建物ごとに、空家としての条件の有無、損傷・老朽化・劣化の度合い、状況写真等  
をとりまとめ、カルテに整理・点数化し危険度を判定

#### オ. 所有者意向調査の実施

現地確認調査対象となった空家候補建物の所有者に対し、アンケート調査を実施



回収・分析し、**次年度で改定する豊川市空家等対策計画の策定資料等に活用**